

市町村名		粟国村					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 照喜名原地区整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤及び村民の憩いの場を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度(現年)	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	
		(a)当初予算額	10,161	19,172		156,596	
	(b)予算現額	9,960	18,640		156,769		
	(c)増減額(b-a)	▲201	▲532		173	0	
	(d)繰越額	-	-	18,640		98,449	
	A.計(b+d)	9,960	18,640	18,640	156,769	98,449	
	B.執行済額	9,936	0	18,640	58,320	90,858	
	うち交付金充当額	7,949	0	14,912	46,656	72,686	
	次年度繰越額	-	18,640	-	98,449	-	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	0.0%	100.0%	37.2%	92.3%	
予算の状況の説明	保安林解除に日数を要したため、繰越(98,449千円)が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	照喜名地区整備工事	目標	( 実施設計の実施 )	( 整備工事実施 )	( )	( )	
		実績	実施設計の実施	整備工事実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	保安林解除に日数を要したため、繰越(98,449千円)が生じた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(2年度)
	照喜名地区整備工事	目標	( )	( 施設設計の完 )	( 整備工事 )	( )	( 供用開始 )
		実績		実施設計の完成	整備工事		
	【R2成果目標】 年間利用者数:900人	目標	( )	( )	( )	( )	( 900人 )
		実績					
進捗状況説明	保安林解除に日数を要したため、繰越(98,449千円)が生じた。						

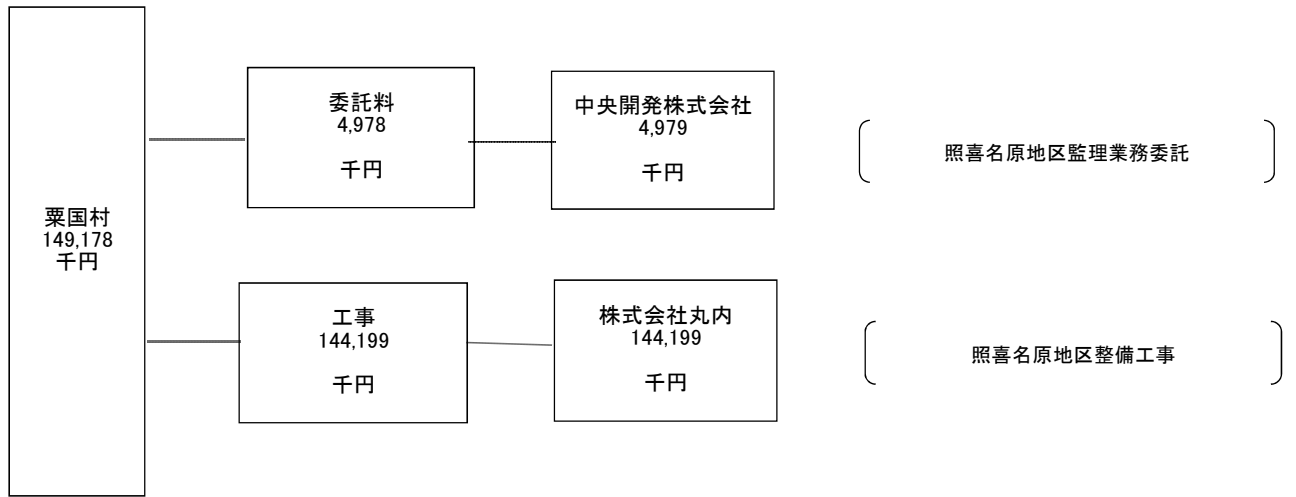
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(保安林)一部建築物の変更が生じたことで、保安林解除申請も影響することから関係機関との十分な協議を図っていく。 (運営方法)供用開始に向けて、管理運営支援事業委託は、整備事業前までに済ませる必要がある。	(保安林)関係機関との協議は、整備工事の期間延長につながらないように迅速に行う。 (運営方法)観光客向けだけにならないよう地元住民の意見が反映される仕様の検討。

**今後の取り組み方針**

(保安林)新たな協議が発生しないよう全体の再確認を行います。  
 (運営方法)新型コロナ対策による新たな生活様式も見据えた上で、国や県のガイドライン等を常に確認して運営方法を進めていく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
149,178	149,178	119,432	29,746	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	